

北海道浮魚ニュース

令和2(2020)年度3号

2020年5月19日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎サバ類・マイワシ漁場調査結果

マイワシの北上早い マイワシは16~18cm台、サバ類は24cm前後が主体

ロシア主張200海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するための調査を実施したのでお知らせします。

- ・調査期間：2020年5月12~17日
- ・調査方法：海洋観測および表中層トロールによる漁獲試験（1時間曳網）
- ・調査海域と調査点：道東太平洋の6点（表1、図1）

1. 水温分布（表1、図1）

表面水温10℃以上の黒潮系暖水が、東経143~146度、北緯41度30分付近まで、北上しています（図1）。また、道東沿岸の5℃台の水温帯の沖側に7~8℃台の水温が帯状に認められました。表中層トロールを実施した調査点（図1の黒丸）の表面水温は6.2~11.3℃でした（表1）。

2. 漁獲尾数（表1）

マイワシはすべての調査点で漁獲され、総漁獲尾数は25,600尾でした。最も漁獲尾数が多かったのは調査点4の18,561尾と、本調査が開始された2016年以降で最多となりました。また、本調査でマイワシがN42°以北で漁獲された例はなく、例年よりも早く北上していると考えられます。

サバ類の総漁獲尾数は483尾で、そのほとんどが調査点4（480尾）で漁獲されました。

なお、カタクチイワシとサンマは漁獲されませんでした。

3. 体長組成（図2、図3）

まとまった漁獲がみられた調査点3~6におけるマイワシの体長は、調査点ごとの大きな違いはなく16~18cm台の中羽サイズが最も多く、次いで20~21cm台の大羽サイズの割合が高くなっていました（図2）。

すべての調査点で漁獲されたサバ類の尾叉長は、20~29cmの範囲であり、24cm台が主体でした（図3）。

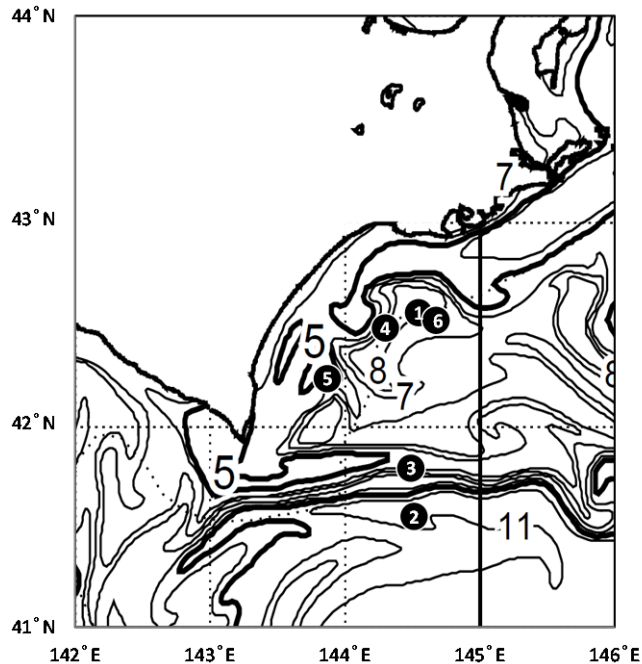


図1 2020年のマサバ・マイワシ漁場調査における調査点（黒丸）と調査点番号（白字）
（漁業情報サービスセンターの5/13-14の水温図を改変）

昨年の漁獲物と比較すると、マイワシでは、体長 15cm 以下の個体の割合が大幅に減少し、20cm 以上の個体の割合が増加していました（図 3）。サバ類では全体的に 4cm 程度大型化していました。

表 1 2020 年のサバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査点 番号	調査日	位置		水温			漁獲尾数			
		北緯	東経	0m	20m	50m	サバ類**	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ
1*	5/12	42-33	144-33	8.1	8.8	9.7	0	3	0	0
2	5/13	41-32	144-30	11.3	11.6	10.3	2	6	0	0
3	5/13	41-47	144-29	6.2	4.9	9.3	0	4,643	0	0
4	5/15	42-28	144-18	9.8	9.1	8.8	480	18,561	0	0
5	5/16	42-13	143-52	8.3	6.8	8.3	1	1,797	0	0
6	5/17	42-30	144-41	8.0	8.4	7.2	0	590	0	0
合計							483	25,600	0	0

* 曳網時間30分

**サバ類にはマサバとゴマサバが含まれます

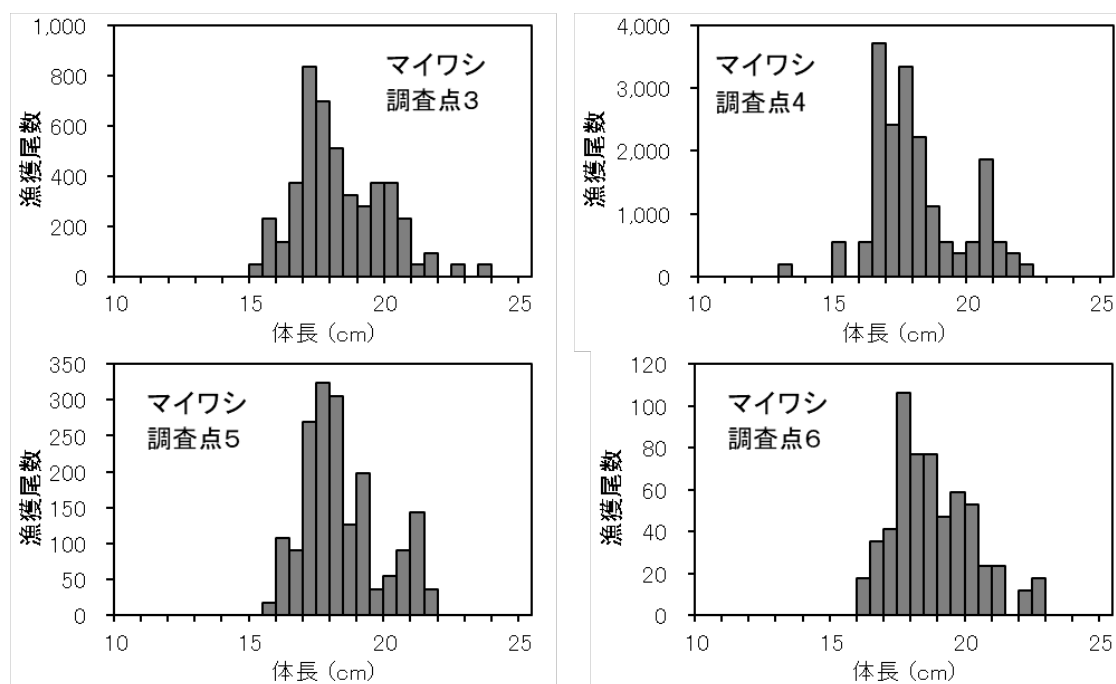


図 2 2020 年に主な調査点で漁獲されたマイワシの体長組成

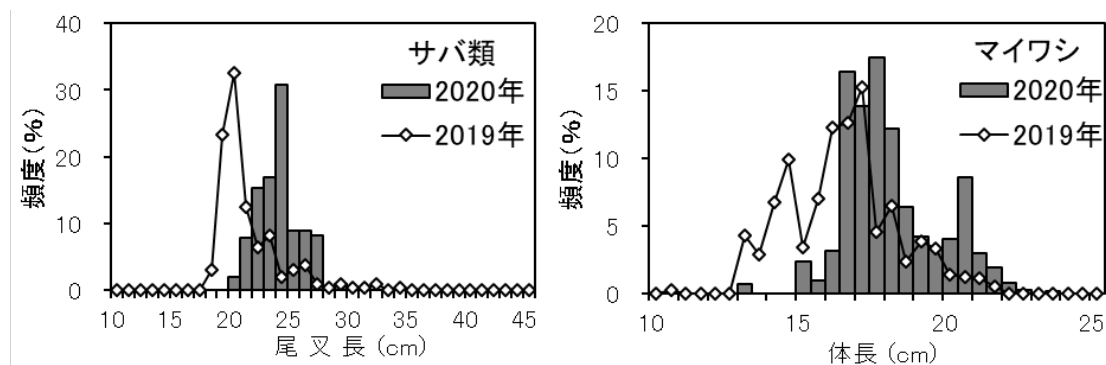


図 3 全調査点合計のサバ類およびマイワシのサイズ組成

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)